

第4期 被災地応急対応期(9/4全島避難～平成14年3/12一時帰宅)

4-1. 噴火活動の経過

1. 噴火活動の減少

01. 9月中旬以降は火山灰が少なくなり、白色噴煙を主とした噴出活動に変わってきた。

10月6日18時50分、気象庁は、「三宅島では、9月中旬以降は火山灰が少なくなり、白色噴煙を主とした噴出活動になっている。火山ガスの放出量は、9月中旬以降は、1日あたり約2～4万トンの二酸化硫黄の放出が観測されており、現在のようにガスの放出が続けば、爆発的噴火や火砕流の可能性は低い。当面は、多量の火山ガスを放出する活動が続くと考えられ、火山ガスに対する警戒が必要。また、雨による泥流にも注意が必要」旨の火山噴火予知連絡会の検討結果を発表(臨時火山情報第19号)。

11月1日19時20分、気象庁は、「火口の外に噴石を降らせるような噴火は見られなくなった。また、火山灰は10月以降認められなくなった。火山ガスの放出量は、9月～10月は、1日あたり約2～5万トン程度の二酸化硫黄の放出が観測されており、このような脱ガス状態が続く限り、山麓に噴石や火砕流を出すような爆発的噴火が発生する可能性は低い。当面は、多量の火山ガスを放出する活動が続くと考えられ、火山ガスに対する警戒が必要。また、雨による泥流にも注意が必要」旨の火山噴火予知連絡会の検討結果を発表(臨時火山情報第20号)。[『平成12年(2000年)三宅島噴火及び新島・神津島近海地震について』内閣府(2003/9),p.4]

02. 平成13年3月から5月に小規模な噴火があった。

平成13年5月28日、気象庁は、「3月19日及び5月27日に小規模な噴火があり、一時的に火山灰の放出が見られたが、それらを除き降灰はほとんど認められない。二酸化硫黄の放出量は、昨年に比べ低下しているが、1日あたり約2～3万トン程度の高い値を保持している。地殻変動は次第に鈍化している。3月から4月にかけて火口直下の温度変化を示すとも考えられる全磁力変化が観測された。以上のことから火山ガスの放出活動は低下の兆しが現れていると考えられる。今後も小規模な噴火が発生する可能性があるが、山麓に影響するような大きな規模の噴火の可能性は低いと考えられる。引き続き火山ガスに対する警戒が必要。」旨の火山噴火予知連絡会の検討結果を発表(臨時火山情報第2号)。[『平成12年(2000年)三宅島噴火及び新島・神津島近海地震について』内閣府(2003/9),p.4]

03. 小規模な噴火は依然続いていた。

平成 13 年 5 月 27 日、小規模噴火が観測され三七沢付近で少量の降灰確認

平成 13 年 9 月 28 日、小規模噴火発生

平成 14 年 1 月 23 日、小規模噴火が発生し東部で少量の降灰を確認

平成 14 年 3 月 2 日、小噴火 2 度発生、北東部で微量の降灰確認

[三宅村商工会ホームページ <http://www.miyakejima.jp/funka/kuroku/kiroku.html>]

2. 火山ガスに対する警戒

01. 爆発的噴火や火砕流の可能性は低いが多量の火山ガスに対する警戒が必要となった。

平成 12 年 10 月 6 日：ガスの放出が続けば、爆発的噴火や火砕流の可能性は低い。当面は、現在のような多量の火山ガスを放出する活動が続くと考えられるので、火山ガスに対する警戒が必要。[『平成 12 年(2000 年)三宅島噴火及び新島・神津島近海地震について』内閣府(2003/9), p.4]

平成 12 年 10 月 1 日、火山ガス放出日量 6 万トンと発表

平成 13 年 4 月 14 日、二酸化硫黄排出日量 19,000 ~ 23,000 t

平成 13 年 4 月 25 日、二酸化硫黄排出日量 29,000 t

[三宅村商工会ホームページ <http://www.miyakejima.jp/funka/kuroku/kiroku.html>]

02. 二酸化硫黄の放出量は、1 日あたり約 1~2 万トン程度の高い値を保持している。

平成 13 年 10 月 22 日、気象庁は、「二酸化硫黄の放出量は、減少傾向だが、1 日あたり約 1~2 万トン程度の高い値を保持している。火山ガスの組成はほぼ一定に保たれている。収縮を示していた地殻変動は、鈍化しながらも継続している。全磁力の変化は、6 月から 8 月にかけて、地下の温度低下の変化を示していたがそれ以降鈍化した。以上のことから火山ガスの放出も含めて、火山の活動は全体として低下途上にあると考えられる。今後も小規模な噴火が発生する可能性はあるが、山麓に影響するような大きな規模の噴火の可能性は低いと考えられる。引き続き火山ガスに対する警戒が必要。また、引き続き雨による泥流にも注意が必要。」旨の火山噴火予知連絡会の検討結果を発表(臨時火山情報第 3 号)。[『平成 12 年(2000 年)三宅島噴火及び新島・神津島近海地震について』内閣府(2003/9), p.4]